

⑦ 図形の角

5年  
名前

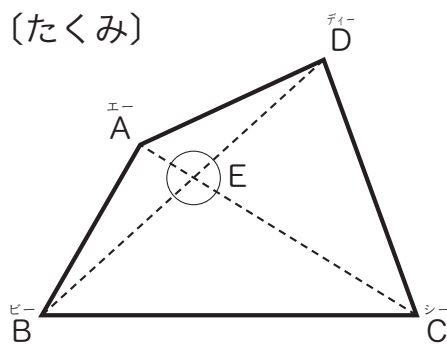
組

番

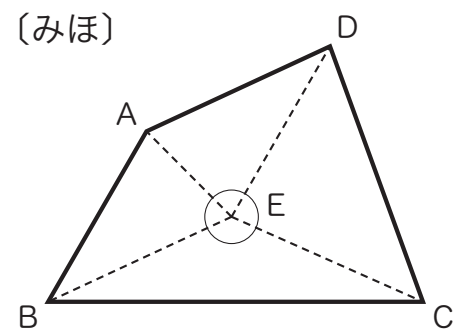
**1** 教科書88～89ページでは、四角形の4つの角の大きさの和を、いろいろな考え方で求めました。たくみさんとみほさんは、下のように考えていました。2人の考えを次のような目でみなおします。

下のように、たくみさんの考えの2本の対角線が交わった点をEとします。

(たくみ)



(みほ)



ここで、たくみ→みほの順に点Eの動き方を追ってみると、点Eは、2本の対角線の交わった点→四角形ABCDの中、という順に動いたとみることができます。

そこで問題です。下の図のように、点Eが四角形ABCDの外にあるときも、四角形ABCDの4つの角の大きさの和が $360^\circ$ になることを、三角形の3つの角の大きさの和が $180^\circ$ であることを使って説明しましょう。

